

魔王クイズ

1

歌曲「魔王」の作曲者で、歌曲「野ばら」「ます」、未完成交響曲なども広く知られていて、「歌曲王」という呼び名もついているドイツ出身の作曲家は誰？

- 1.L.v.ベートーヴェン
- 2.J.S.バッハ
- 3.W.A.モーツァルト
- 4.F.P.シューベルト ☒

解説

- ・「魔王」のようにドイツ語で作曲された歌曲を特に「ドイツリート」と呼びます。
- ・各作曲家の呼び名は以下の通り。

L.v.ベートーヴェン「楽聖」

J.S.バッハ「音楽の父」

W.A.モーツァルト「神童」

その他、「音楽の母」「交響曲の父」「ピアノの詩人」「ピアノの魔術師」という呼び名の作曲家がそれぞれいます。誰のことか、どんな作品を作ったか、調べてみると面白いかも。

2

歌曲「魔王」の作詞者は誰？

- 1.シューベルト
- 2.ゲーテ ☒

解説

- ・作詞者と作曲者が違うことを押さえておきましょう。
- ・ゲーテの詩「魔王」は1781に書かれ、シューベルトによって作曲されたのは1815年です。
- ・シューベルト以外にも「魔王」を作曲した作曲家は複数います。
- ・中学生が取り組む合唱曲をはじめとした身近な音楽にも、詩人の詩に作曲家が後年音楽をつけたものは多々あります。

3

歌曲「魔王」の編成として正しいものはどれか、2つ選びなさい。

- 1.歌い手1人 ☒
- 2.歌い手2人
- 3.歌い手4人
- 4.ピアノ ☒
- 5.ピアノ、ヴァイオリン
- 6.ピアノ、フルート

解説

歌い手1人、ピアノ伴奏が「魔王」の編成です。

- ・たくさんの人で歌っていると感じたら、とても良いポイントに気づいています。言葉にできたらすごい。
- ・ピアノじゃない音に感じた部分があるとしたら、ピアノの音色の変化に気づけている証拠なのかもしれませんよ。
- ・ドイツリートの中にはピアノ以外の楽器を伴奏楽器として用いる曲もあるそうです。

4

歌曲「魔王」の構成上の特徴を2つ選びなさい。

- 1.同じメロディを繰り返す「有節形式」
- 2.歌詞の各節ごとに違うメロディをつけて詩の内容を発展させる「通作形式」 ☒
- 3.1人で4役の登場人物を歌い分ける ☒
- 4.拍子が目まぐるしく変わる

解説

- ・有節形式の歌曲はいわゆる「1番、2番、」という構成の曲です。通作形式にはそれがありません。さて、小5で習ったであろう「待ちぼうけ」は…有節形式です。
- ・「待ちぼうけ」では1番、2番と進むごとに話が展開していき、歌い方が変化していきましたが、「魔王」では登場人物の違い＋話の展開の変化でさらに表現が複雑になっていますね。

5

ゲーテの詩「魔王」のストーリーとして正しいものを選びなさい。

- 1.雪の夜、父と馬に乗って帰る途中、病気の子は「魔王」の声に怯えるが、父には聞こえず、宿に着く前に子は力尽きた。
- 2.嵐の夜、父と馬に乗って帰る途中、病気の子は「魔王」の声に怯えるが、父には聞こえず、宿に着く前に子は力尽きた。 ☒

- 3.嵐の夜、父と馬に乗って帰る途中、病気の子は「魔王」の声に怯えるが、子には聞こえず、宿に着く前に父は力尽きた。
- 4.嵐の夜、父と魔王に乗って帰る途中、病気の子は「馬」の声に怯えるが、父には聞こえず、宿に着く前に子は力尽きた。

6

歌曲「魔王」の作曲上、父と子には原則としてどんな差がつけられているでしょう？

- ・父のメロディは子のメロディよりも〇〇い音域で作曲されている。

答え
「ひく」

解説

- ・大人の方が声が低く、こどもは声が高いということを音の高さで表現しています。
- ・同じ歌い手が歌っていても、聞き手が「あ、登場人物が変わった」とメロディで判断できるようになりますね。
- ・父について、心情の変化を表す音楽表現など、このクイズ以外に作曲者の工夫に気づけたらすごい。

7

子は曲中で3回「Mein Vater(お父さん)」と呼びかけます。だんだん必死になっている様子を伝えるために、作曲上どんな工夫がされているか、教科書の楽譜でわかるものを答えなさい。

- 1.速さが少しずつ速くなっている。
- 2.リズムがどんどん細かくなっている。
- 3.メロディの全体的な音の高さが少しずつ高くなっている。○
- 4.メロディに使われる音域がどんどん広がっている。

解説

- ・日常生活でも、一生懸命誰かに呼びかける時は声が大きくなるのはもちろん、ちょっと声色が高くなりませんか？そんな様子をシューベルトが意図して作曲したと考えられます。
- ・ちなみに、元の楽譜を調べましたが、強弱の指示はありませんでした。

8

魔王の場面について正しいものを全て選びなさい。

- 1.3回目の登場の最後のセリフ以外は、長調で音楽が作られている。○
- 2.ピアノの伴奏のリズムが魔王の場面だけ変わっている。○
- 3.2回目の登場は、低い音や高い音が入り混じった、広い音域のメロディである。○
- 4.全曲を通して、長調になるのは魔王登場の場面だけである。

解説

- ・音源をよく聴いて確認してみましょう。
- ・長調は父の登場場面でも使われています。しかし父の4回目の登場の最後のセリフは短調になっています。ここからも父の心情の変化が表現されていると考えられますね。

9

「魔王」のクイズの振り返りをしましょう。

例

- ・「初めて知った」「なるほど！」と思ったこと
- ・もっと調べたいと思ったこと
- ・今まで習った曲や知っている曲について、「魔王」と同じような作曲の工夫があるかもしれないと思ったものとその詳細
- ・もっと復習しようと思ったこと
- ・疑問に思ったこと

など

10 ※時間がある人向けの発展課題

【ロールプレイ】あなたは「魔王」の詩にとっても感銘を受けた売れっ子作曲家です。「魔王」の世界観を作曲家としてどのように表現しますか。アイデアを書きましょう。

(シューベルトとは違ったアプローチを期待しています。)